

浦和フィルハーモニー 管弦楽団

第77回 定期演奏会

2026年10月18日(日) 13:30開場 14:00開演

彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール

指揮 佐藤寿一 (当団音楽監督)

ベートーヴェン 「プロメテウスの創造物」 序曲

シベリウス 交響曲第7番

ベートーヴェン 交響曲第2番

全席自由 1,500円 (前売り1,000円)

〈チケット取扱〉

◆彩の国さいたま芸術劇場

048-858-5500 (休館日を除く9:00~19:00)

埼玉会館窓口

048-829-2471 (休館日を除く10:00~18:00)

ともに窓口現金販売のみです。

来館前に残席状況をお問い合わせください。

◆チケットお申し込みサイト teket 〈テケト〉

<https://teket.jp/5697/74208>

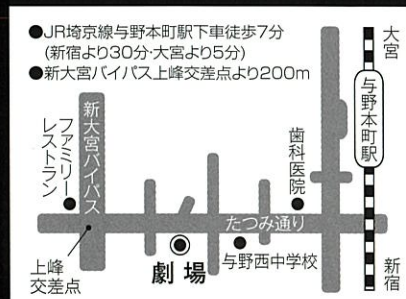


〈お問い合わせ〉

浦和フィルホームページ

<https://www.urawaphil.com/>

浦和フィル事務局 庄子(しょうじ) 070-5452-4754



- ・会場の駐車台数には限りがありますので、ご来場の際はなるべく公共機関をご利用ください。
- ・車椅子でご来場予定の方は、準備のために事前に事務局までご連絡ください。
- ・未就学児の入場はご遠慮ください。会場に有料の臨時託児所を設けますので、ご利用の方は裏面をご覧ください。

*写真は当団
ファゴット奏者
西山道子の使用楽器です。

主催 浦和フィルハーモニー管弦楽団
後援 さいたま市／さいたま市教育委員会

仙台市生まれ。埼玉大学教養学部卒業。はじめ哲学コースで音楽美学を専攻するが、のちに指揮に転向。指揮を小松一彦、高階正光、前田幸市郎の各氏に師事。これまでに山形交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、千葉交響楽団、東京都交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、サヴァリア交響楽団（ハンガリー）、カンナム交響楽団（韓国）、国立台湾交響楽団青年部などを指揮。1998年から2004年まで山形交響楽団指揮者。また、オペラの分野では東京室内楽歌劇場その他オペラの副指揮・指揮や文化庁主催・歌座『うたよみざる』公演の指揮兼打楽器を務めた他、モーツァルト作曲『フィガロの結婚』、フンパーディンク作曲『ヘンゼルとグレーテル』、林光作曲『あまんじゃくとうりこひめ』では指揮とともに演出も担当し好評を博す。2013年5月には、ニューヨーク・カーネギーホールで『第九』その他を指揮し、現地の合唱団・オーケストラと日本から参加した障がい者を含む合唱団とが一体となった演奏は、満席の聴衆からの熱狂的なスタンディングオベーションという大きな成功をおさめた。



©Masaki ARYAMA

浦和フィルハーモニー管弦楽団においては1986年の創立以来、音楽監督としてともに活動を展開しており、2001年から2005年にかけて行われた「彩の国シューベルト・シリーズ」（シューベルトの交響曲全曲演奏プロジェクト／埼玉県芸術文化振興財団＝諸井誠芸術総監督（当時）＝制作）の指揮、2006年の浦和フィル創立20周年記念公演『カルメン』の指揮・台本・演出などが好評を得ている。またスクリャービン作曲『交響曲第一番《芸術賛歌》』を取り上げるなど世界的に演奏頻度の低い曲にも力を入れ、浦和フィル×佐藤寿一による歴史に埋もれた曲の発掘を〈セリエ“S”〉としてシリーズ化し、音楽史に新たな光を当てている。

演奏 ● 浦和フィルハーモニー管弦楽団

浦和フィルハーモニー管弦楽団は、指揮者・佐藤寿一氏の呼びかけで1986年に創設された、さいたま市を拠点とするアマチュアオーケストラです。彩の国さいたま芸術劇場や埼玉会館を中心に演奏活動を行っています。

約50名という規模を活かし、作品を深く掘り下げるアンサンブル重視の姿勢を大切にしています。年2回の定期演奏会では古典作品に加え、近代～現代の曲や、歴史から忘れられつつある作品を取り上げる「serie “S”」にも挑戦しています。

団員全員が運営に関わり、地域に根ざした活動を展開。室内楽演奏会や学校での音楽教室、各種イベントでの演奏に加え、2013年からは福島県双葉町の成人式でも演奏を続けています。

浦和フィルHP
<https://www.urawaphil.com/>



託児のお申し込みについて

会場に有料の臨時託児所を設けます。ご利用の方は右のQRコードよりお申込みください。
ご質問等もQRコードよりお問い合わせください。



前回演奏会でのお客様の声をご紹介します

前回の演奏会は、6年ぶりに復活したserie “S” ～浦和フィル×佐藤寿一による発掘シリーズ～でした！
多くのお客様からいただいたアンケートの中から、いくつかの声をご紹介します。

- ・私は必ず先に曲目紹介を読ませていただいてから聴かせてもらいます。いつも参考になり各楽章のイメージが湧いて来ます。大変な作業に感謝いたします。(70代男性)
- ・ブルグミュラーの交響曲第2番を初めて聴きました。開演前の説明と共に大変良かったです。指揮者が素晴らしい。(70代男性)
- ・いつも寝る私が、寝る暇もなくとても楽しかったです。(70代女性)
- ・あまり馴染みのないプログラムだったので親しみがなかった。でも少しずつきいていくうちに音のすばらしさを感じて拍手をいっぱいおくれた。(不明)
- ・ブルグミュラーの2番は初めて聴きましたが演奏が素晴らしかったこともあり、今後も演奏していくべき曲だと思います。(男性)
- ・つぎのえんそうかいもたのしみに、しています。がんばってください(6歳女性)
- ・初めて伺いましたが、曲のクオリティ、ボリューム共に聴き応えある素晴らしい演奏でした。秋の演奏会も聴きに行きたいと思います。(40代男性)

ご来場ありがとうございました。ご声援いただき励みになります。
これからも浦和フィルを応援よろしくお願いいたします！